

## 7

## 子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 ～子どもの頃の読書は、豊かな人生への第一歩～

キーワード：子ども、成人、読書、体験、意識・能力

### 1. 研究の目的

平成23年度から平成24年度にかけて、「子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究会」を設置し、成人の読書活動の実態や現在の意識・能力、さらには、子ども（特に中高生）の読書活動の実態や現在の意識・能力を把握し、子どもの読書活動の推進に資する資料を収集することを目的として調査を行った。

これまで、民間団体等で読書活動の実態に関する調査は行われていたが、子どもの読書活動が、成長してからの意識・能力に及ぼす影響や効果などについて初めて調査を実施したところである。

### 2. 調査の概要

#### 【青少年調査】

#### 1) 調査対象

高等学校2年生	278校	10,227人
中学校2年生	338校	10,941人
		計 21,168人

学校選定においては、平成22年文部科学省子ども読書普及啓発事業調査における、子どもの読書活動推進計画策定状況、学校図書館図書標準達成率、司書教諭の配置状況(11学級以下)、中学校1校当たりの図書購入予算額の4変数をもとに、読書推進の積極性が高いと位置づけられる自治体と低いと位置づけられる自治体並びに中間の自治体を抽出し、その自治体内から学校規模等に基づきサンプリングを行い、学校への依頼を行った。

#### 2) 調査方法及び期間

学校を通じた郵送法留置による質問紙調査を平成24年3月に実施した。

#### 【成人調査】

#### 1) 調査対象

20代～60代の成人 5,258名

#### 2) 調査方法及び期間

ウェブアンケートによる質問調査を平成24年2月に実施した。

### 3. 主な調査結果

1) 多くの中学生・高校生や成人は、読書が好きである。

「読書が好きですか」という問に対して、「とても好き」、「わりと好き」と回答した中学生は67.0%、高校生は59.7%、成人は60.0%であった。

また、「この1か月に本を読みましたか」という問いに対し、「読んだ」と回答した中学生は82.0%、高校生は56.2%であり、「1か月に何冊以上本を読みましたか」という問いに対し、「1冊以上」と回答した成人は71.8%であった。

なお、中学生・高校生に対し、学校図書館や地域図書館で「1か月あたり何冊ぐらい本を借りますか」という問いに対して、「0冊」と回答した割合は、学校図書館では中学生は72.4%、高校生は82.0%、地域図書館では中学生は78.3%、高校生は85.2%であった。

さらに、子どもの頃(就学前から中学時代)に読書活動が多かった成人やこれまでに「好きな本」や「忘れられない本」があると回答した成人は、1か月に読む本の冊数や1日の読書時間が多いだけでなく(図1、図2)、子どもへの読み聞かせや、一緒に図書館で本を借りるなど読書活動を通じた子どもとの関わりが多い(図3、図4)。

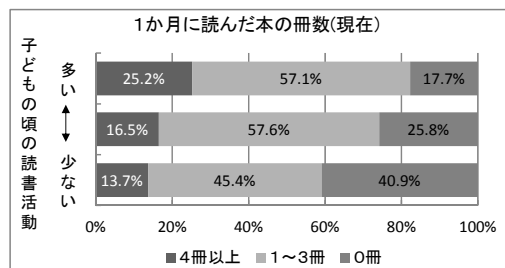


図1 子どもの頃の読書活動と1か月に読んだ本の冊数との関係（成人調査）

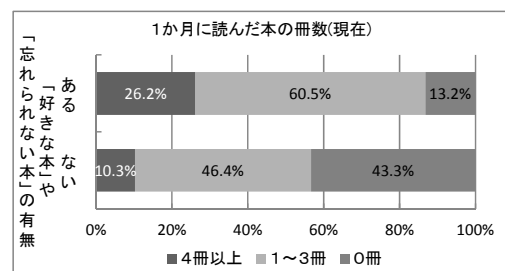


図2 好きな本や忘れられない本の有無と1か月に読んだ本の冊数との関係（成人調査）

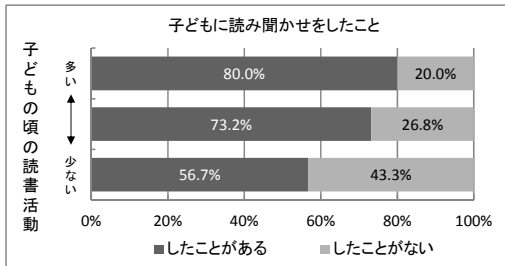


図3 子どもに読み聞かせをしたこと  
からの読み聞かせの経験との関係（成人調査）

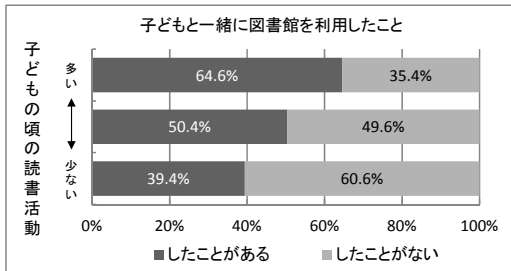


図4 子どもに読み聞かせをしたこと  
から子どもと一緒に図書館を利用した  
経験との関係（成人調査）

2) 子どもの頃の読書は、人生を豊かにする。

子どもの頃の読書活動が多い成人ほど、未来志向、社会性、自己肯定、意欲・関心、文化的作法・教養、市民性といった現在の「意識・能力」が高い。

また、子どもの頃に読書活動が多い成人ほど、ボランティア活動に参加している人が多い。

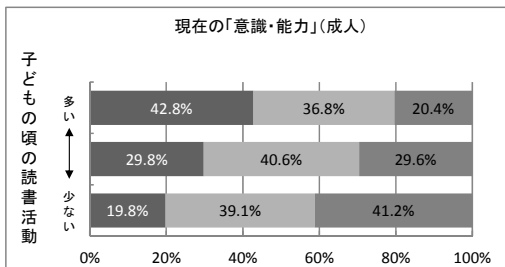


図5 子どもに読み聞かせをしたこと  
との関係（成人調査）

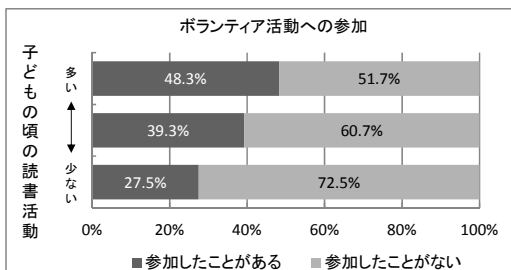


図6 子どもに読み聞かせをしたこと  
との関係（成人調査）

また、成人と同様に、子どもの頃(就学前から中学時代)の読書活動が多い中学生や高校生ほど、現在の「意識・能力」が高いことが

明らかになった。例えば、小学校に入学する前や低学年時に読書活動が多かった中学生や高校生は、人を思いやる気持ち（共生感）や社会のルールを守る意識（規範意識）などの能力が高い。

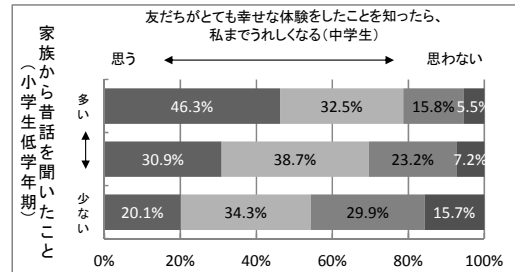


図7 家族から昔話を聞いたこと（小学校低学年）と共生感に関する項目（中学生）との関係

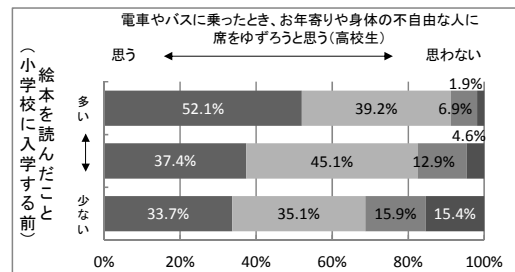


図8 絵本を読んだこと（就学前）と規範意識に関する項目（中学生）との関係

3) 読書と一緒に体験も必要である。

本調査では、読書活動と体験活動との関係についても調査を行った。その結果、子どもの頃に読書活動を多く経験した成人は、同時に子どもの頃の体験活動も多く経験している。

また、子どもの頃に読書活動と体験活動の両方とも多く経験している成人ほど、大人になってからの現在の「意識・能力」が高い。

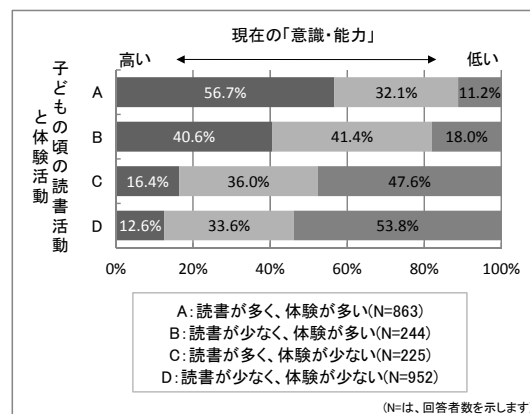


図9 子どもに読み聞かせをしたこと・体験活動との関係（成人調査）

(文責 国立淡路青少年交流の家 蓬田 高正<sup>(※)</sup>)  
(※) 平成24年度青少年教育研究センター研究員